

# 海外子会社等からの投資回収、資金回収のスキームとチェックポイント

- 日 時： 2015年 7月1日 (水) 10:30~17:00 ※12:00~13:00 昼食・休憩
- 会 場： 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講 師： 秋元 宏樹氏 [公認会計士] Ernst & Young Advisory Services

【ご略歴】 早稲田大学商学部卒。复旦大学留学。1996年公認会計士二次試験合格、太田昭和監査法人入所。2003年~2008年上海大華会計事務所、上海安永華明会計事務所にて、中国現地法人のマネジメント、不正・不祥事、会計、監査、税務等のコンサルティングに従事。現在、Ernst & Youngにて、中国をはじめ海外・新興国で事業及びM&Aを展開する日本企業に対して、リスクマネジメント、内部監査・内部統制、グループ会社マネジメント、不正・不祥事、ガバナンス・コンプライアンス対応、進出、事業再編・再構築、M&A 及び PMI (買収後統合)、撤退、税務・会計、IPO (株式公開) 支援、調査及び教育研修などの各種コンサルティングを提供、マネジメント問題に関与。SAP GRC & Fraud Management [powered by HANA]、新興リスク・不正/贈賄リスク・M&A リスク、戦略リスク、Big Data によるリスクマネジメントを推進。中国、新興国・海外で事業を拡大する日本企業の執筆、論文、講演、官公庁・企業内部研修等多数。多数の中国語専門翻訳・専門通訳実績を有するマルチリンガル。【講演】金融庁「日本企業のアジア諸国での活動と投資資金~中国における会計税務マネジメントと変貌する投資政策」、東京証券取引所「海外子会社の内部統制と会計不正・不祥事」、日本内部監査協会「中国・海外事業の拡大とこれからの内部監査」など、講演、官公庁・企業内部研修等多数。【著作】「リスク管理と企業規程の作成・運用実務」(第一法規)、ブログ「会計士パンダの中国税務会計教室」(2007年~連載中) (<http://cpa-panda.way-nifty.com/blog/>)、「中国の会計税務詳解」(税務経理協会)、「中国の会計基準と IFRS との差異比較」(旬刊経理情報)、「ケースを知って未然に防ぐ会計不正の処方箋」(企業会計) など、執筆、論文多数。

## ●プログラム●

現在、日本は成熟した債権国の入り口にあるといわれており、輸出による貿易収支の黒字が減少して赤字化する一方、海外への直接投資の回収により所得収支の黒字が増加する状況が定着しつつあります。企業経営においても、製品輸出、部品輸出・現地組立の時代から、生産拠点の海外移転・海外市場の開拓により、海外投資による配当や利子、使用料(ロイヤルティ、ライセンス、ノウハウ等)による収入の時代へと、クロスボーダー取引による収益の獲得、海外からの収益回収の構造が大きく変化しています。さらに新興国・新興市場の開拓などビジネスの更なるグローバル化、海外 M&A の積極的な展開により、コーポレート部門や管理部門などの本社機能、財務や IT などの機能、研究開発や無形資産管理などの機能を、地域統括会社をはじめとする海外拠点に移転する戦略的なガバナンス・マネジメントの実施に向けた流れが強まっています。それらを背景に、クロスボーダー取引や海外投資・資金回収の手法は多様化かつ複雑化してきており、それらにまつわる規制や取扱いに起因する様々な問題が生じています。多くの日本企業が対応を講じてきていますが、とりわけ新興国におけるビジネスの拡大とともに、不透明な現地規制、外資企業に対する規制強化、事前無通告の規制変更、独自の解釈や運用など、クロスボーダー取引や海外投資・資金回収に際して考慮検討すべき項目は多岐にわたってきています。また、従来から問題となっていた税務や外為等の問題のみならず、グローバル・コンプライアンスに関する考慮、地域統括会社を活用したグループ・ガバナンス体制、ノウハウ・知的所有権、SNS/cloud、アウトソーシングなど、ビジネスモデルの変化やテクノロジーの進化、取引のボーダレス化が、海外投資・資金回収の遅延や不能につながるリスクを増大させており、海外投資・資金回収におけるリスクマネジメントの重要性は高まっています。

本セミナーでは、海外投資・資金回収のスキームとチェックポイントを海外投資マネジメント・モニタリング、グループ・ガバナンス・マネジメント、グローバル GRC (Governance Risk Compliance)、国際税務・会計など、企業の海外投資、事業管理、M&A、再編、投資回収、撤退の様々な局面での支援経験を踏まえて丁寧に解説いたします。

## ●参加要領●

●受講料：1名 [資料、昼食代含む]

正会員	41,040円	一般	43,200円
-----	---------	----	---------

[本体価格38,000円 本体価格 40,000円]

\* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。 <https://www.bri.or.jp>

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場地図・請求書をお送り致します。

\* 最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。ご了承ください。

●申込先 一般社団法人 企業研究会  
担当：居代 E-mail: [ishiro@bri.or.jp](mailto:ishiro@bri.or.jp)  
〒102-0083 千代田区麹町5-7-2  
TEL 03-5215-3516 / FAX 03-5215-0951~2

151427-0906		15 7/1 海外子会社等からの投資回収、資金回収~	
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	.....
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	.....
e-mail			

10:30

## 第1章：海外投資、資金回収に影響を与える基本的制度

### 1. 国内税制

－租税条約、配当益金不算入制度、タックスヘイブン対策税制、  
移転価格税制 等

### 2. 海外税制

－源泉税（直接税・間接税）、恒久的施設〔PE〕課税、  
投資促進・企業誘致税制 等

### 3. 海外各種規制

－外国為替・国外送金規制、非貿易取引規制、資本取引規制 等

## 第2章：海外投資、資金回収の基本スキームと チェックポイント

### 1. 配当

### 2. 利子

### 3. 使用料（ロイヤルティ、ライセンス、著作権、賃貸料他）

### 4. 貿易取引

## 第3章：海外投資、資金回収の応用スキームと チェックポイント

### 1. 役務提供

－支援・指導、委託・代理・代行、シェアード、システム・ネットワーク 等

### 2. グループ・ガバナンス・マネジメント

－派遣・出向、管理・監督、コンサルティング 等

### 3. 無形資産・IP

－ノウハウ・技術、研究開発、ソフトウェア、フォーマット・プログラム、  
設計・デザイン、ブランド 等

### 4. 資本取引

－譲渡・売却（シェアディール・アセットディール）、  
再編、中間持株会社 等

### 5. 財務取引

－グループファイナンス、CMS 等

## 第4章：海外投資、資金回収を確実にするための施策

### 1. 企業価値向上と持続的成長（株主との対話）

### 2. 投資効率とROEの改善（リスクと施策）

《質疑応答・コンサルテーション》

12:00  
昼食・休憩  
13:00

16:30

17:00

★ 弊会ホームページからも申込み可能です。

「トップ」→ 「セミナー・会員研究会」→ 「05 .経理・財務」